

① 学校の熱中症対策について

町内の小中学校では先週から2学期が始まりました。自宅や外出先で夏休みを満喫していた子供たちですが、久しぶりに友達との登校となりました。9月とはいってもまだまだ暑い日は続き、日差しも厳しいものがあります。最近では中高生だけではなく小学生、中には低学年のお子さんが日傘をさして登下校する姿が見られます。家庭でも子供たちを強い日差しから守り、熱中症にならないように対策をされているのだと思います。

そこで、学校現場ではどのような熱中症対策をされているのかをお尋ねします。

- (1) 暑さ指数の測定をどのように行っているのか。
- (2) 熱中症に関する指導や対策を学校全体でどのように行っているのか。
- (3) 体育など外での活動時間の見直しを行っているのか。
- (4) 特別教室のエアコンの設置状況はどうなっているのか。
- (5) プールでは熱中症にならないためにどのような対策を取っているのか。

② 小中学校のトイレの洋式化について

本町の小中学校のトイレ事情についてお尋ねします。家庭のトイレはほとんどが洋式で、最近はレバーを回さなくても自動で水が流れる高機能なタイプもあります。小学生の中には入学して初めて和式トイレを見た、というお子さんも少なくないと思います。防災の観点からも町は段階的に和式トイレを洋式トイレに改修する取り組みを進めていると思います。そこで、現状の確認と、今後の計画についてお尋ねいたします。

- (1) 本町の小中学校のトイレの洋式化の現状と今後の改修計画はどうなっているのか。
- (2) 災害時には避難所となる学校だが、その場合高齢者や障害をもった方、幼児のためにも洋式トイレは必要となる。町はどのように考え計画を立てているのか。

③ 小中学校の女子トイレへの生理用品配置について

小中学校の女子トイレに生理用品を配置する自治体が少しずつ増えてきています。児童生徒が安心して学校生活を送るためには、衛生環境を整えることは学習環境を整えることと同じくらい大切なことです。特に女子にとって生理用品は必要不可欠な衛生用品です。自分で用意するのは当然ですが、予期せぬことが起こった場合にトイレに常備してあると安心です。小中学校の女子トイレへの生理用品の配置について、町の考えをお尋ねします。

- (1) 現在、小中学校における生理用品の配置の状況はどうか。
- (2) 配置されていない場合、今後小中学校の女子トイレに生理用品を配置する考えがあるのか。